

松阪市電子入札システム更新及び運用業務

プロポーザル審査基準

松阪市

松阪市電子入札システム更新及び運用業務 プロポーザル審査基準

1 評価項目及び点数

評価項目及び点数は、次のとおり構成する。

評価項目		配分点
内容評価	(1) 導入事業に係る事業実績	20
	(2) 電子入札システム機能評価	100
	(3) 導入業務に係る事業計画・推進体制	40
	(4) 電子入札システム更新及び運用業務	240
価格評価	(5) 電子入札システム更新及び運用業務の見積金額	100
合計		500

2 評価項目ごとの採点基準

評価にあたっては、企画提案書及びプレゼンテーション等の内容について、次の(1)以降の基準に従い、評価項目ごとの得点を算出する。

(1) 導入事業に係る事業実績

次の項目について、企画提案書等に基づき評価し、得点を算出する。

	項目	評価基準	評価内容	点数
①	電子入札コアシステム開発コンソーシアム会員	会員区分について、評価する。	① 正会員である。	10
			② 賛助会員である。	5
②	電子入札システムの提供実績	地方公共団体への実績数について評価する。	① 10団体以上	10
			② 5団体以上	5
合計				20

(計算式)

得点 = 評価項目の点数の合計

(2) 電子入札システム機能評価

本業務の仕様書で示した内容について、パッケージの標準仕様等に対応可能なのか、カスタマイズ等に対応可能なのか、代替運用（他システムとの連携など）で対応となるのかを、様式第6号（機能要件回答書）により提案者に回答していただく。

それぞれの回答内容を数値化し、得点を算出する。

対応不可能な項目がある場合には、仕様を満たさないものとして失格とする。

項目	評価基準	配分点
機能要件回答書	下表のとおり	100

◎（標準）	○（代替）	△（カスタマイズ）	×（対応不可）
5点	2点	1点	失格

得点 = 100 × 「別紙 機能要件回答書」の評価項目の点数の合計 ÷ 450
 （小数第1位を四捨五入）

(3) 導入事業に係る事業計画・推進体制

次の項目について、各審査委員が評価し、得点を算出する。

	項目	評価基準	評価内容	点数
①	会社の概要	本市におけるシステムの全体像と、本業務の位置付けを十分理解し、提案に当たっての基本的な考え方や、開発基本方針等の評価する。	優れている やや優れている 普通 やや劣っている 劣っている	10 7 5 3 0
②	提案システムの特徴	操作性・視認性等を評価する。	優れている やや優れている 普通 やや劣っている 劣っている	10 7 5 3 0
③	事業推進体制	電子入札システム更新及び運用業務開始後の事業推進体制について、記載の明確さとともに、技術者動員数、コミュニケーションツール、連絡	優れている やや優れている 普通 やや劣っている 劣っている	10 7 5 3 0

		窓口等が適切であるかを評価する。		
④	事業全体のスケジュール	電子入札システム更新業務の全ての工程を網羅し、工程間の調整管理を踏まえるとともに、工程におけるポイント（実証実験、説明会の開催時期等）を理解した上で、妥当なスケジュールとなっているかを評価する。	優れている やや優れている 普通 やや劣っている 劣っている	10 7 5 3 0
合計				40

(計算式)

$$\text{得点} = \frac{\text{全委員の評価項目の点数の合計}}{\text{委員数}}$$

(小数第1位を四捨五入)

(4) 電子入札システム更新及び運用業務

次の項目について、各審査委員が評価し、得点を算出する。

	項目	評価基準	評価内容	点数
①	システム初期環境構築作業	実施内容、市職員への負担軽減のためのサポートを評価する。	優れている やや優れている 普通 やや劣っている 劣っている	20 15 10 5 0
②	事業者・市職員向け説明会	実施の回数、支援体制等を評価する。	優れている やや優れている 普通 やや劣っている 劣っている	20 15 10 5 0
③	実証実験	実施件数、内容、支援体制を評価する。	優れている やや優れている 普通 やや劣っている 劣っている	20 15 10 5 0

④	事業者・市職員向けヘルプデスク	内容、対応時期・時間等を評価する。	優れている やや優れている 普通 やや劣っている 劣っている	20 15 10 5 0
⑤	発注案件の公開時間	公開時間の設定方法を評価する	優れている やや優れている 普通 やや劣っている 劣っている	20 15 10 5 0
⑥	予定調達件数の増への対応	件数増加への対応を評価する。	優れている やや優れている 普通 やや劣っている 劣っている	20 15 10 5 0
⑦	システム利用可能時間、システム障害対応、レスポンス保証	稼働時間、障害対応、回復時間、開札処理時間等を評価する。	優れている やや優れている 普通 やや劣っている 劣っている	20 15 10 5 0
⑧	セキュリティ対策	データセンターの施設、セキュリティ対策の記載の明確性及び妥当性について評価する。	優れている やや優れている 普通 やや劣っている 劣っている	20 15 10 5 0
⑨	システム稼働後の運用支援、システム保守	緊急時の対応体制の記載の明確性、妥当性	優れている やや優れている 普通 やや劣っている 劣っている	20 15 10 5 0
⑩	更新後の支援体制	関係法令や入札制度の改正に伴うシステム改修の考え方や改修等に係る費用負担の軽減について評価する。	優れている やや優れている 普通 やや劣っている 劣っている	20 15 10 5 0
⑪	内部システムとの連携手法、フロー、	連携項目、連携タイミ	優れている	20

	連携内容	ング、連携方法について評価する。	やや優れている 普通 やや劣っている 劣っている	15 10 5 0
⑫	その他	その他の提案、アピールポイント等々を評価する。	優れている やや優れている 普通 やや劣っている 劣っている	20 15 10 5 0
合計				240

(計算式)

$$\text{得点} = \text{全委員の評価項目の点数の合計} \div \text{委員数}$$

(小数第1位を四捨五入)

(5) 電子入札システム更新及び運用業務の見積金額

見積金額を次の計算式により算出したものを得点とする。

(小数第1位を四捨五入)

$$\text{得点} = \text{配分点 (100点)} \times (1 - (\text{提案者の見積金額} / \text{提案上限額}))$$